ぐるっと18町村　南とかち

広尾・大樹
更別・中札内

◎広尾支局
☎01558・2・4111

道路建設の現場に驚き

更別小　工事見学し機械も体験

更別ＩＣ―忠類大樹ＩＣ間の建設現場を見学する更別小児童

【更別】更別小学校（萩野泰幸校長、児童152人）の3年生（奥田真弓教諭、児童23人）は8日、村内の帯広・広尾自動車道の建設現場を訪れた。工事中の更別インターチェンジ（IC）―忠類大樹IC（仮称）間で、働く機械に体験乗車したり、工事の進行状況などの説明を受けながら、道路建設のスケールの大きさに目を輝かせていた。

活気ある学級づくりにつなげようと、保護者も参加して実施している「学年交流会」の一環。道路が高い場所にあるため「どんな工事をしているのか分からない。興味があり、知りたい」という見学要請を受け、更別ICから1㌔地点の村南2線～同4線で舗装工事を請け負う北央道路・北洋・菱中共同企業体が受け入れた。保護者を伴い大型バス2台で訪れた児童らに、道路ができるまでの工程などを説明した。

児童は担当者の説明を受けた後、ブルドーザーへの乗車も体験。タイヤローラーなどが、砂ぼこりを上げながら間近で作業する迫力に、時間がたつのを忘れて見入っていた。父親が同建設現場で働く氏家灯乃都さんは「お父さんが造った道路を早く車で走ってみたい」と興奮気味だった。

同区間17㌔は2008年に着工し、今年度中の供用に向けて工事が進められている。更別ICから14㌔地点に忠類IC（仮称）、同17㌔地点に忠類大樹IC（仮称）を設ける。舗装は現在9区間で14社が工事を実施しており、村南2線～4線は、全体の30％が終わっている。

（小寺泰介）

イタリアの水牛農業の実情紹介

柏林講座

イタリアの水牛農業の実情を紹介する白井所長

【大樹】十勝の太平洋沿岸部にある湖沼群を中心に、湿原・湿地研究と保全・利活用を進める「湿原研究所」（白井隆所長）は3日、町生涯学習センターで農業・環境に関する読書会「柏林講座」を開いた。

毎月第1木曜日に行っており、今回は15人余りが出席した。6月16～28日にローマ南部のラツィオ州で開催された「国際水牛会議」に参加した白井所長が、イタリアにおける水牛農業の実情などについて解説した。

白井所長はラツィオ州の酪農家が水牛乳製モッツァレラチーズを自ら生産・加工・販売している事例などをスライドを交えて紹介。「大量生産・大量消費の時代に、小規模で地域独自の商品を作っている。その姿に今後の研究所の活動（水牛乳によるモッツァレラチーズ製作）に活力をいただいた」と述べた。

（関根弘貴）

歴舟川きれいに

河川敷を草刈り　清流を守る会

【大樹】歴舟川の清流を守る会（奥田眞行会長）は6日、国道236号（大樹橋）の下を流れる歴舟川河川敷で草刈りを行った。

同会は1992年に結成。清流・日本一に輝いている歴舟川の資源保護活動などを実施している。草刈り作業は河川敷が会場となる「歴舟川清流まつり」（8月）に向けた取り組みで、今年で6回目。

この日は会員ら約20人が参加。町内の産業団体など20団体でつくる「歴舟川流域ネットワーク会議」と協力し、同橋の下から約240㍍上流に向かい生い茂った草を刈り取った。

奥田会長は「これからも協力しながら取り組んでいきたい」と話していた。

（村上美智子通信員）

歴舟川清流まつりに向けて行った草刈り作業

12日に地域医療講演会

【大樹】町と町国民健康保険病院は12日午後3時半から、町健康管理センターで地域医療講演会を開く。関節の専門家を招き、膝の痛みの解消法などについて学ぶ。入場無料。

けいら整形外科医院（新得町）の計良基治院長、北斗病院（帯広市）の石田直樹副院長＝関節センター長＝が変形性膝関節症の治療方法などを紹介する。申し込み、問い合わせは町健康管理センター（01558・2・5122）へ。

今年も熱いあんどん

あすから「広高祭」

作業場で和紙張りに汗を流す高校生

【広尾】広尾高校（岩田一郎校長、生徒156人）で、11日から始まる学校祭「広高祭」へ向け、名物行事・あんどん行列に使うあんどん製作が急ピッチで行われている。第65回の節目を迎える伝統行事へ、生徒たちは一致団結して作業に当たっている。あんどん行列は30年以上の歴史を誇る。初日の夜に市街地を練り歩く姿は、同校ならではの光景だ。

6クラス1基ずつ「わくわくするものを」

〝主役〟となるあんどんは、1～3年生の全6クラスが1基（長さ7・4㍍、幅2・3㍍、高さ3・4㍍）ずつ製作。作業は6月26日に始まった。最初の1週間は放課後に約3時間、今週に入ってからは日中の4時間を加えて約7時間、休日も返上して毎日行っている。

工程は①作業場作り②骨組み作り③輪郭作り④和紙張り⑤墨入れ（絵入れ）⑥色付け―の6つある。3年A組は全クラス最少の23人ながら「細部の質の高さ、格好よさにこだわって丁寧に仕上げている」（ホームルーム級長の柏崎光輝君）という。

8日の和紙張りでは脚立を使った高所作業などをこなしていた。進捗（しんちょく）率は5割で、11日の午前までに急ピッチで進める。小、中、高校を広尾で過ごす柏崎君は「あんどんは広高に欠かせない唯一無二の存在で、小さい頃から憧れていた。校内で一番良いあんどんを作らないと卒業できない。みんながわくわくするものにしたい」と意気込んでいた。

（関根弘貴）

町村野球

更別

◇村内あさ大会（9日）

矢島食堂　30002020　01000300　45
TBC
【矢】鈴木、須藤―山角、鈴木
【T】森田惇―高橋

町村ソフト

柏町が優勝

【更別】ソフトボールの第33回行政区選手権大会最終日は7日、決勝を行い、柏町が東栄区に17―5で逆転勝利して頂点に立った。

▽決勝
柏町　04220063　13000010　517
東栄区
【柏】宗宮―高木
【東】鈴木―若園尚
▽本塁打＝河合2、藤澤（柏）

ホールインワン

和田さんが達成　老人ク連PG

【中札内】第23回中札内村老人クラブ連合会パークゴルフ（PG）大会が7日、札内川総合運動公園で開かれた。

好天の中、参加した32人は和気あいあいと18ホールを回り競技を楽しんだ。ホールインワンを達成した和田定治さん（75）は「今日は調子がよく最高だった。みんな楽しそうにやっていて良かった」と話していた。

（前川喜隆通信員）

上位の成績は次の通り。

（敬称略）

▽男性の部＝①北島秀夫②寺島正治③和田定治
▽女性の部＝①和田トシ子②高田文江③篠谷せつ

熱戦を繰り広げる参加者